



2	法定	自主
	○	

産業廃棄物処理計画書

令和 6 年 6 月 27 日

神奈川県知事 殿

提出者

住 所 神奈川県藤沢市本藤沢4丁目2番1号

氏 名 株式会社荏原製作所 藤沢事業所
事業所長 鈴木俊昭
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0466-83-8111



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社荏原製作所 藤沢事業所			自主管理事業登録番号 (1168)
事業場の所在地	神奈川県藤沢市本藤沢4丁目2番1号			TEL(連絡先): 0466-83-8311
計画期間	令和 6 年 4 月 1 日 ~ 令和 7 年 3 月 31 日(1 年間)			
当該事業場に関する事項				
① 事業の種類	E25—はん用機械器具製造業 (具体的には) 一般機械製造業			
② 事業の規模 ※ 前年度実績を記入、医療機関は前年度末時点の病床数を記入。	製造業	製造品出荷額	759,300 百万円	
	建設業	エリア内元請完成工事高	百万円	
	医療機関	病床数	床	
	その他の業種	売上高	百万円	
	(上記項目に該当しない場合にはこちらに記載をしてください。)			
③ 従業員数	1928(藤沢事業所)			
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程 ※ 産業廃棄物の種類ごとに記入	日常回収廃棄物は分別シールを添付して日常回収ステーションに排出する。持込廃棄物や特殊廃棄物、事業部特有の廃棄物は社内マニフェストを添付して指定廃棄物置き場に排出する。排出された廃棄物は社外処理委託(中間処理後リサイクル又は埋立処分)する。 ・汚泥⇒社外委託処理(脱水処理)⇒発酵堆肥 ・廃油⇒社外委託処理(油水分離)⇒助燃油 ・金属くず⇒社外委託処理(圧縮)⇒金属再生 ・廃酸⇒社外委託処理(中和)⇒製錬原料 ・廃アルカリ⇒社外委託処理(中和)⇒固化後埋立			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

廃棄物管理責任者を以下の各部門から選任

- ・建築、産業:環境管理部門
- ・精密:環境管理部門
- ・コーポレート:環境管理部門
- ・関連会社:環境管理部門

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度(令和 5 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類数	9 種類	* 種類ごとの前年度排出量は、別紙のとおり。
	① 排出量	2,517.3 t	
	(これまでに実施した取組)		
	1. 発生抑制の取り組みは各部署において日常活動として継続実施している。 2. 廃棄物発生量は生産状況によって変動するため、現状維持を目標としている。 3. 社内教育は環境マネジメントシステムの一環として行い全従業員が年に一回以上受講している。 4. 各種講習会・講演会・展示会等に参加し情報収集に取り組んでいる。 5. 情報公開は、ホームページ及び荏原グループCSRレポートで実施している。		
② 計画	【(令和 6 年度)目標】		
	産業廃棄物の種類数	9 種類	* 種類ごとの本年度排出目標量は、別紙のとおり。
	① 排出量	2,315.0 t	
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	
	1. 廃棄物の分類毎に回収場所を特定し分別が確実に行われるようにしている。 2. 藤沢事業所の環境教育で分別方法を指導している。 3. 藤沢事業所イントラネットに分別に関する情報を掲載し、従業員に周知している。	
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度(令和 5 年度)実績】		
	②+⑧ 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	* 種類ごとの前年度自ら再生利用量は、別紙のとおり。
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【(令和 6 年度)目標】		
	②+⑧ 自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	* 種類ごとの本年度自ら再生利用量は、別紙のとおり。
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度(令和 5 年度)実績】		
	⑤ 自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	* 種類ごとの前年度自ら熱回収を行った量は、別紙のとおり。
	⑦ 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	* 種類ごとの前年度自ら中間処理により減量した量は、別紙のとおり。
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【(令和 6 年度)目標】		
	⑤ 自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	* 種類ごとの本年度自ら熱回収を行う量は、別紙のとおり。
	⑦ 自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	* 種類ごとの本年度自ら中間処理により減量する量は、別紙のとおり。
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度(令和5年度)実績】		
	③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	* 種類ごとの前年度自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量は、別紙のとおり。
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【(令和6年度)目標】		
	③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	* 種類ごとの本年度自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う量は、別紙のとおり。
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度(令和 5 年度)実績】		
	⑩ 全処理委託量	2,517.3 t	* 種類ごとの前年度処理委託量は、別紙のとおり。
	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	1,872.0 t	
	⑫ 再生利用業者への処理委託量	486.5 t	
	⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	105.9 t	
	⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	79.4 t	
	(これまでに実施した取組)		

② 計画	【(令和 6 年度)目標】		* 種類ごとの本年度処理委託量は、別紙のとおり。
	⑩ 全処理委託量	2,315.0 t	
	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	1,728.0 t	
	⑫ 再生利用業者への処理委託量	435.0 t	
	⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	80.0 t	
	⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	2.0 t	
	(今後実施する予定の取組)		
※ 事務処理欄			

備考

- 1 この様式は、前年度(令和5年度)の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成し、提出してください。
また、前年度(令和5年度)の産業廃棄物の発生量が1,000トン未満の事業場にあつては、神奈川県・横浜市・川崎市・相模原市・横須賀市が推進する廃棄物自主管理事業へ参加するにあたり、事業場ごとに1枚作成し、提出してください。
- 2 当該年度(令和6年度)の6月30日までに提出してください。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入してください。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類(中分類)の区分を記入してください。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入してください。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入してください。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入してください。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入してください。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付してください。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入してください。
- 7 第5面の※欄には、何も記入しないでください。

産業廃棄物処理計画書

別紙一括表

事業場名称：株式会社荏原製作所 藤沢事業所

(単位：トン)

	ア 燃え殻	イ 汚泥	ウ 廃油	エ 廃酸	オ 廃アルカリ	カ 廃プラスチック	キ 紙くず	ク 木くず	ケ 繊維くず	コ 動植物性 残渣	サ 動物系 固形不燃物	シ ゴムくず	ス 金属くず	セ ガラス、コンクリート、陶磁器くず	ソ 鉱さい	タ がれき類	チ 動物の ふん尿	ツ 動物の 死体	テ ばいじん	ト 混合廃棄物 その他	合計
① 排出量		72.1	487.5	154.2	905.4	298.0	403.1						23.1	11.0						162.9	2,517.3
令 ②+⑧ 自ら再生利用を行った量		0	0	0	0	0	0						0	0						0	0
和 ⑤ 自ら熱回収を行った量		0	0	0	0	0	0						0	0						0	0
5 ⑦ 自ら中間処理により減量した量		0	0	0	0	0	0						0	0						0	0
年 ③+⑨ 自ら埋入処分又は海洋投入処分を行った量		0	0	0	0	0	0						0	0						0	0
度 ⑩ 全処理委託量		72.1	487.5	154.2	905.4	298.0	403.1						23.1	11.0						162.9	2,517.3
実 ⑪ 優良認定処理業者への処理委託量		72.0	133.3	154.2	905.4	250.3	198.9						3.8	11.0						143.1	1,872.0
績 ⑫ 再生利用業者への処理委託量		5.2	6.8	0	0	0	48.3						23.1	0						0	486.5
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量		57.5	41.3	0	0.6	6.5	0						0	0						0	105.9
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		2.8	0	0	0	76.6	0						0	0						0	79.4
① 当該事業場における排出量		65.0	450.0	150.0	850.0	260.0	360.0						20.0	10.0						150.0	2,315.0
※1 自社の他事業場からの搬入量																					
② 自ら直接再生利用する量																					
③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量																					
④ 自ら中間処理する量																					
⑤ ④のうち熱回収を行う量																					
※2 自社の他事業場での処理量																					
⑥ 自ら中間処理後の残さ量																					
⑦ 自ら中間処理により減量する量																					
A 自己処理																					
⑧ 自ら中間処理後に再生利用する量																					
⑨ 自ら中間処理後に自ら埋立処分又は海洋投入処分する量																					
※3 ③ 自ら中間処理後に自社の他事業場での処理量																					
b 自ら中間処理後の処理委託量																					
b-1 中間処理委託量																					
再生利用前委託量																					
最終処分前委託量																					
下水等放流前委託量																					
b-2 最終処分委託量																					
B 直接処理委託量																					
B-1 中間処理委託量		65.0	450.0	150.0	850.0	260.0	360.0						20.0	10.0						150.0	2,315.0
再生利用前委託量		65.0	450.0	150.0	850.0	260.0	360.0						20.0	10.0						150.0	2,315.0
最終処分前委託量		5.0	5.0			45.0															435.0
下水等放流前委託量		60.0	445.0	150.0	850.0	215.0								10.0						150.0	1,880.0
B-2 最終処分委託量																					
⑩ 直接及び自ら中間処理後の処理委託量		65.0	450.0	150.0	850.0	260.0	360.0						20.0	10.0						150.0	2,315.0
⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量		65.0	120.0	150.0	850.0	230.0	160.0						3.0	10.0						140.0	1,728.0
⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量		5.0	5.0			45.0							20.0								435.0
⑬ ⑩のうち認定熱回収業者への処理委託量		45.0	35.0																		80.0
⑭ ⑩のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		2.0																			2.0

令和6年度目標

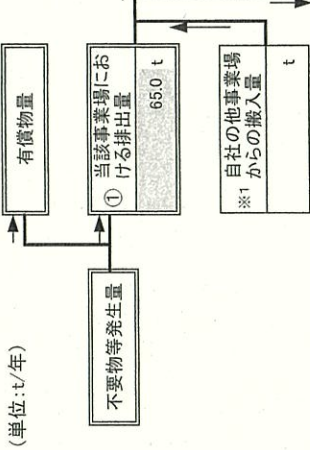
産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

産業廃棄物の種類
イ. 汚泥
※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる産業廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

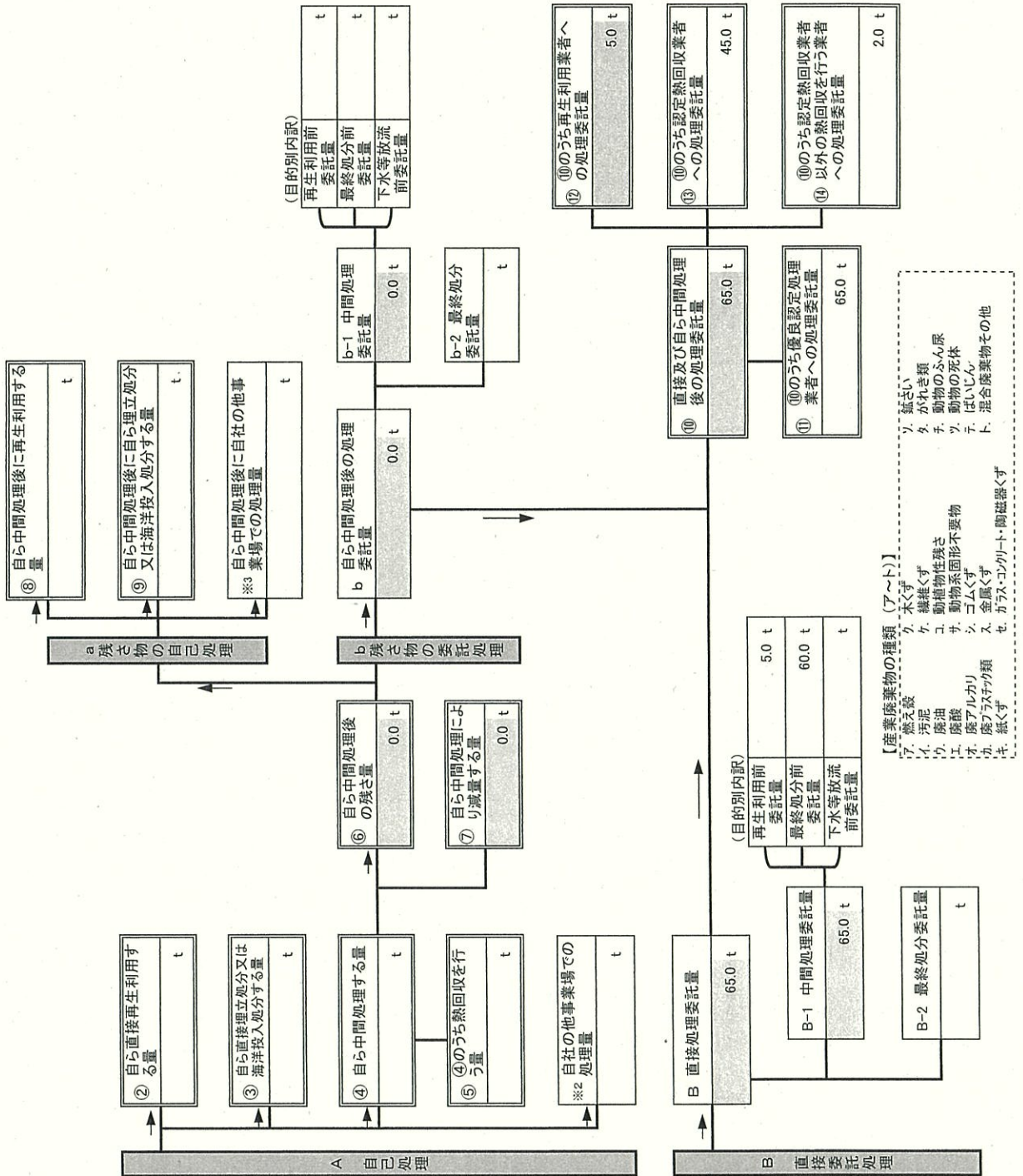
(単位: t/年)



注) 右のフローには、令和6年度の目標量を記載してございます。下の表には、令和5年度実績を記載してございます。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和5年度実績
① 排出量	72.1 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	72.1 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	72.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	5.2 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	57.5 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	2.8 t

事業場名称 : 株式会社荏原製作所 藤沢事業所



【産業廃棄物の種類 (ア〜ト)】

- ア. 燃え殻
- イ. 汚泥
- ウ. 廃油
- エ. 廃酸
- オ. 廃アルカリ
- カ. 廃プラスチック類
- キ. 紙くず
- ク. 繊維くず
- ケ. 植物性残さ
- コ. 動物性残さ
- サ. 動物系固形不燃物
- シ. ゴムくず
- ス. 金属くず
- セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
- ソ. 鉱さい
- タ. がれき類
- チ. 動物のふん尿
- ツ. 動物の死体
- テ. ばいじん
- ト. 混合廃棄物その他

産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー

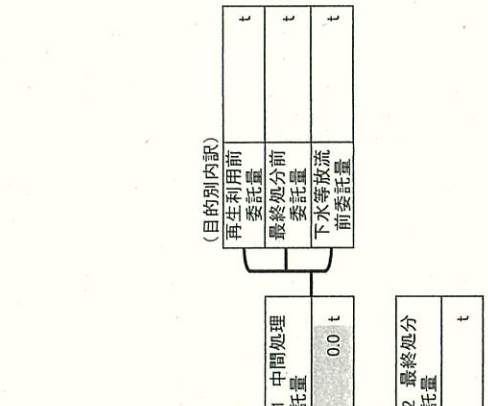
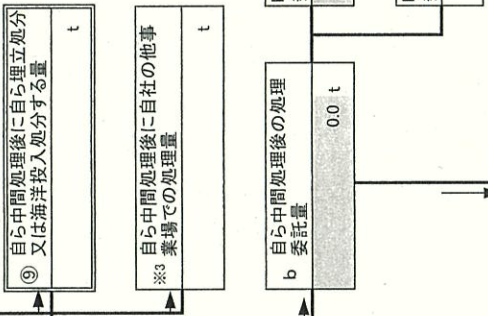
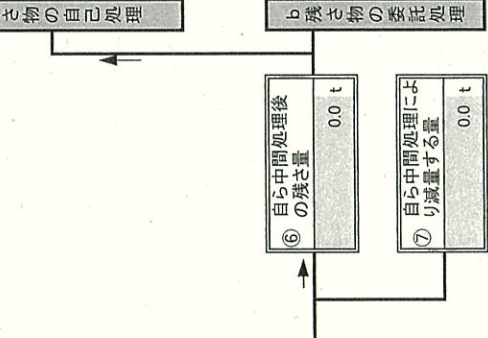
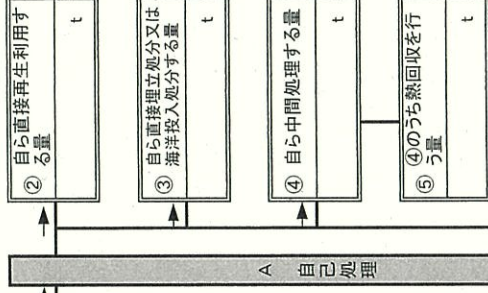
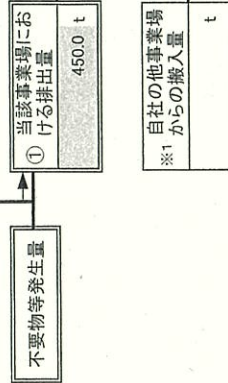
令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

産業廃棄物の種類	ウ. 廃油
フローに記載した産業廃棄物の種類	

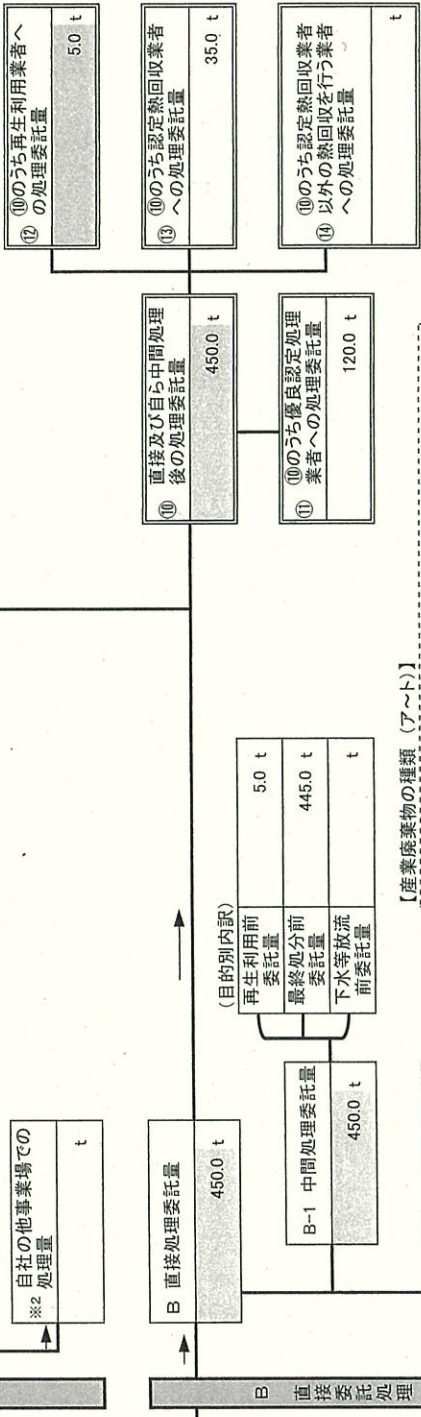
※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる産業廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)

有償物量



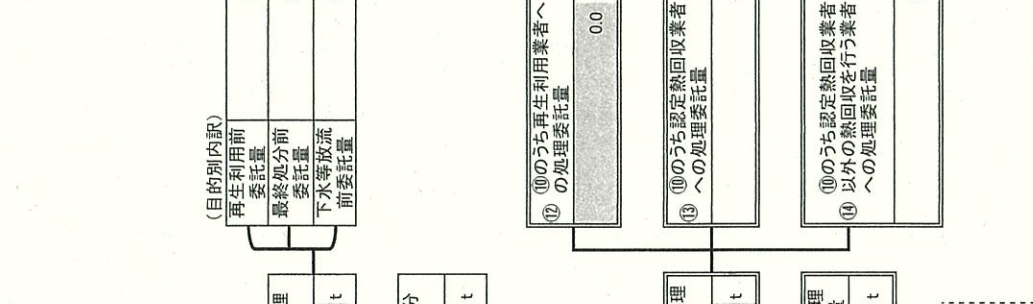
項目	令和5年度実績
① 排出量	487.5 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	487.5 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	133.3 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	6.8 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	41.3 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t



- 【産業廃棄物の種類 (ア〜ト)】
- ア. 廃えん酸
 - イ. 汚泥
 - ウ. 廃油
 - エ. 廃酸
 - オ. 廃アルカリ
 - カ. 廃プラスチック類
 - キ. 繊維くず
 - ク. 木くず
 - ケ. 繊維くず
 - コ. 動植物性残さ
 - サ. 動物系固形不燃物
 - シ. ゴムくず
 - ス. 金属くず
 - セ. ガラス・コークス・陶磁器くず
 - ソ. 金属くず
 - タ. ばいじん
 - チ. 動物の死体
 - ツ. 動植物のふん尿
 - テ. 金属くず
 - ト. 混合廃棄物その他

2-2	法定	自主
	○	

事業場名称：株式会社荏原製作所 藤沢事業所



2	1
---	---

理	t	⑫のうち再生利用業者への処理委託量	0.0
理	t	⑬のうち認定熱回収業者への処理委託量	
理	t	⑭のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

産業廃棄物処理計画書

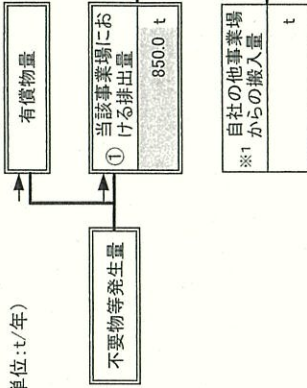
別紙処理フロー

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

【産業廃棄物の種類】
オ. 廃アルカリ

※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる産業廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)

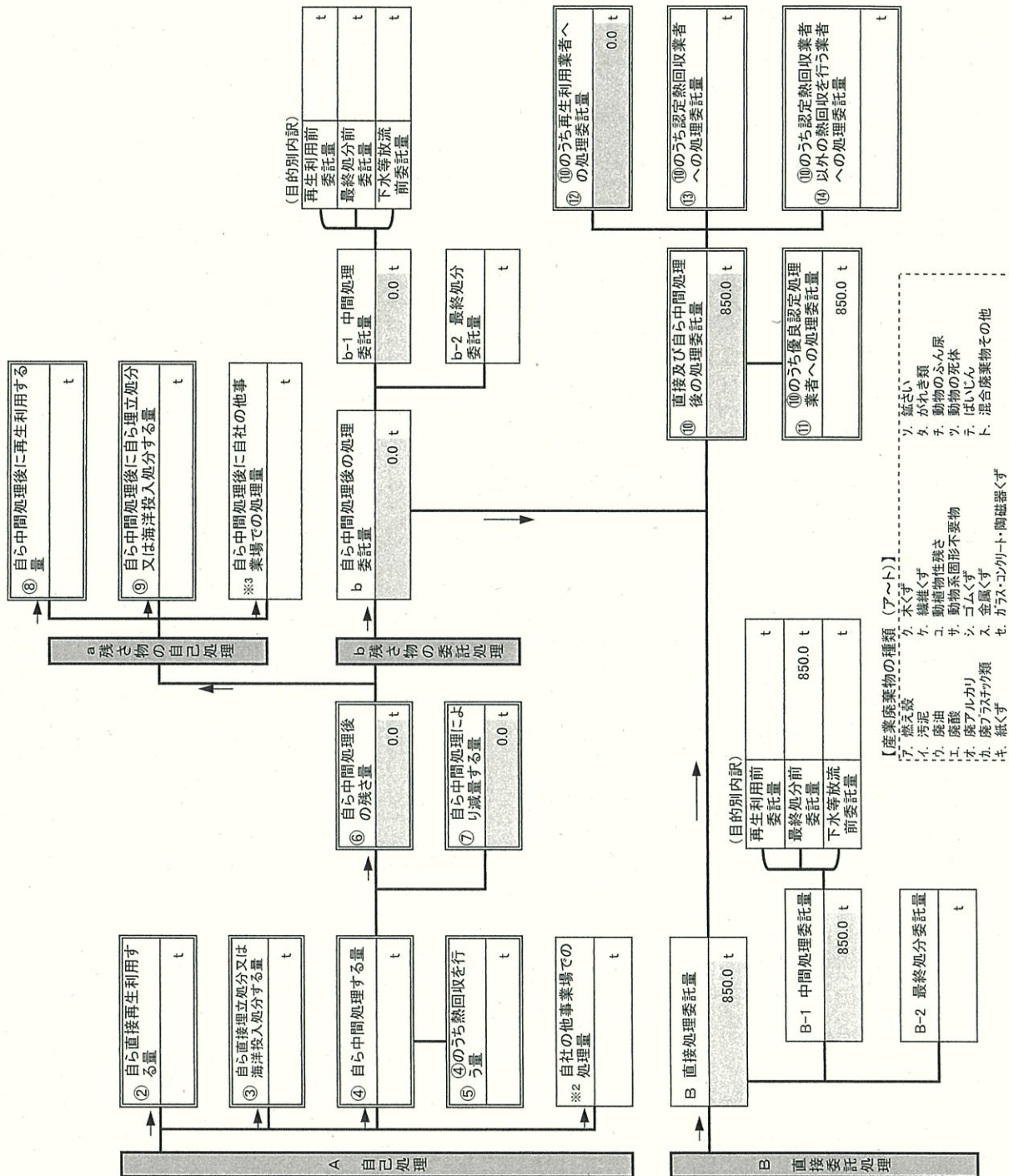


注) 右上のフローには、令和6年度の目標量を記載してご下さい。下の表には、令和5年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとともに数値が反映されます。

項目	令和5年度実績
① 排出量	905.4 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	905.4 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	905.4 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.6 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

事業場名称 : 株式会社荏原製作所 藤沢事業所

2-2 法定 自主



【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】
ア. 燃え殻
イ. 汚泥
ウ. 廃油
エ. 廃酸
オ. 廃アルカリ
カ. 廃プラスチック類
キ. 紙くず
ク. 木くず
ケ. 繊維くず
コ. 動植物性残さ
サ. 動物系固形不燃物
シ. ゴムくず
ス. 金属くず
セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
ソ. 鉱さい
タ. がれき類
チ. 動物のふん尿
ツ. 動物の死体
テ. ばいじん
ト. 混合廃棄物その他

産業廃棄物処理計画書

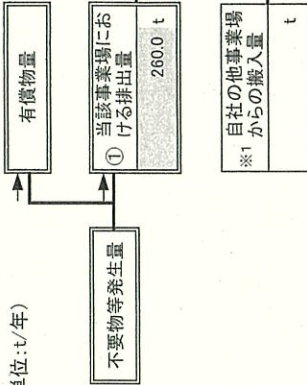
別紙処理フロー

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

産業廃棄物の種類 カ. 廃プラスチック類

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる産業廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)

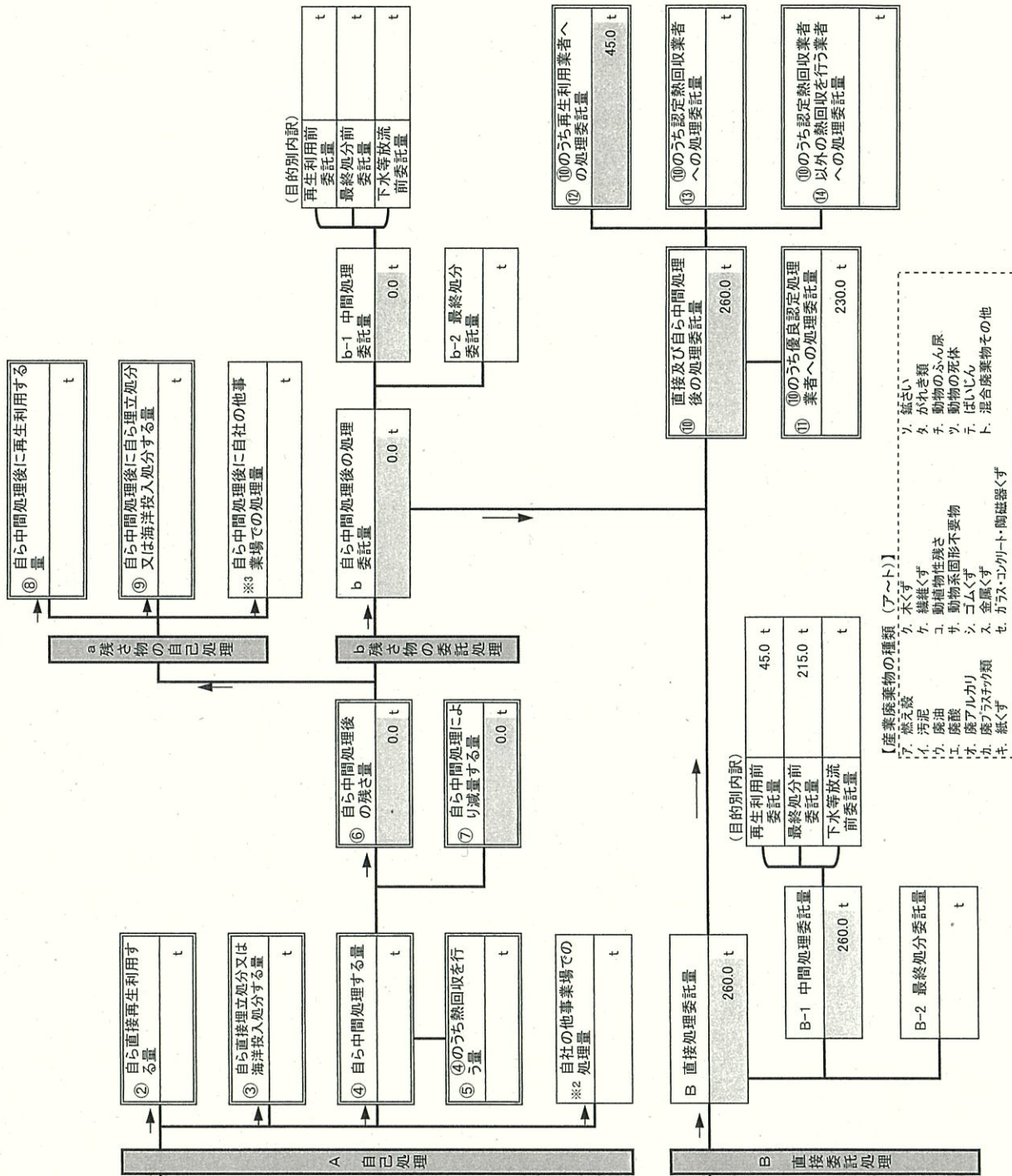


注) 右上のフローには、令和6年度の目標量を記載してございます。下の表には、令和5年度実績を記載してございます。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和5年度実績
① 排出量	298.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	298.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	250.3 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	48.3 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	6.5 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	76.6 t

事業場名称 : 株式会社荏原製作所 藤沢事業所

2-2 法定 自主



【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】

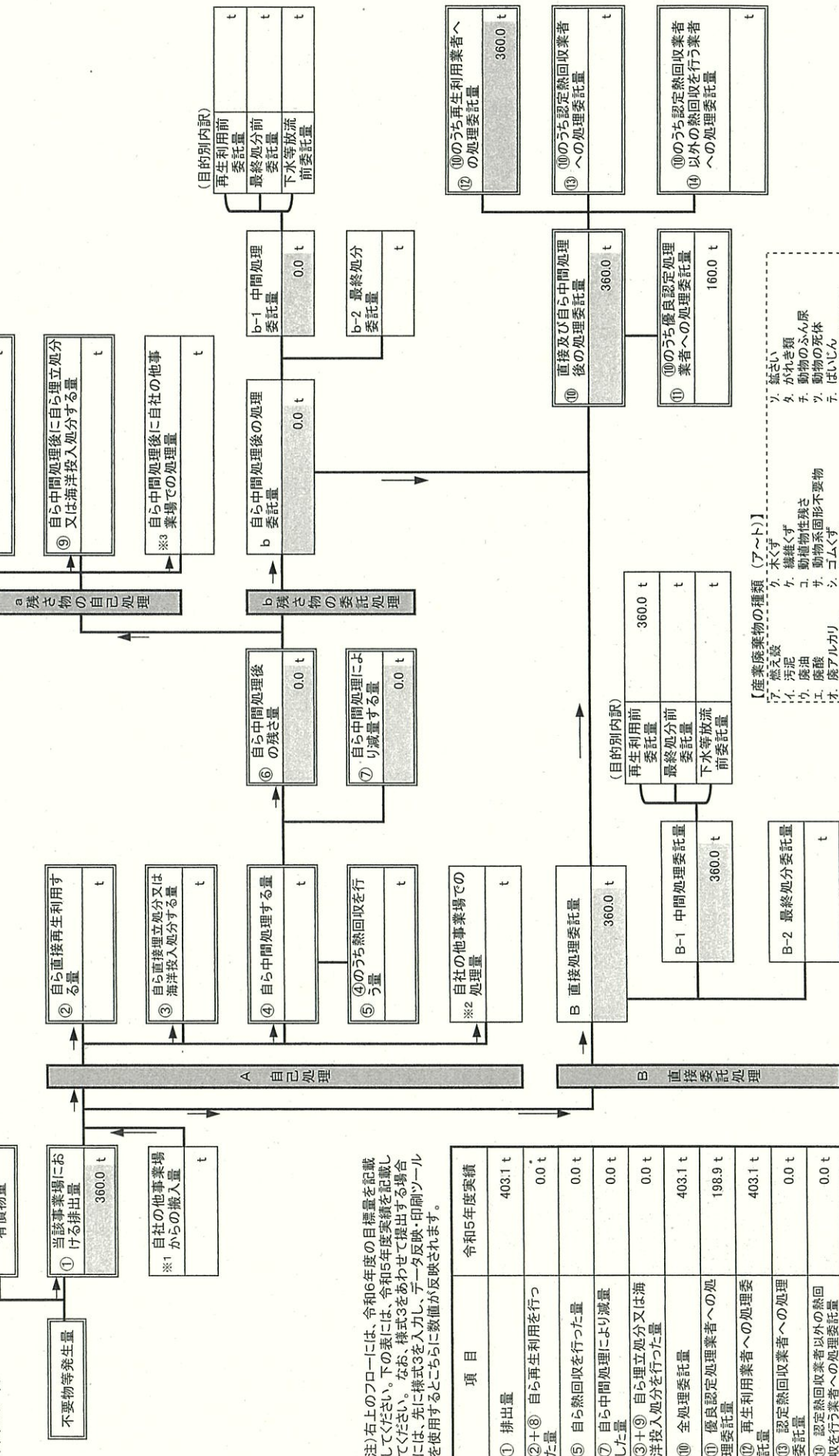
- ア. 燃え殻
- イ. 汚泥
- ウ. 廃油
- エ. 廃酸
- オ. 廃アルカリ
- カ. 廃プラスチック類
- キ. 紙くず
- ク. 木くず
- ケ. 繊維くず
- コ. 動植物性残さ
- サ. 動物系固形不要物
- シ. ゴムくず
- ス. 金属くず
- セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
- ソ. 鉱さい
- タ. がれき類
- チ. 動物のふん尿
- ツ. 動物の死体
- テ. はいじん
- ト. 混合廃棄物その他

2-2	法定	自主
-----	----	----

事業場名称 株式会社荏原製作所 藤沢事業所

「木」すなわちには業種指定等が示り、該当業種以外では一般廃棄物となり、該当対象外です。
 【該当業種】木材又は木製品の製造業（家具製造業を含む）、ハルピ製造業、輸入木材の卸売業、および物品買入れ店に流通のもの、建設業（工作物の新築、改築、除去に伴って生じたもの）。
 【全量対象外】物品の流通のために使用したパレット（ハレット）への貨物の積付のために使用したごん包用の木材を含む。）

(单位:t/年)



(注)右上のフローには、令和6年度の目標量を記載していただく。下の表には、令和5年度実績を記載していただく。なお、様式3を合わせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和5年度実績
① ① 排出量	403.1 t
② ②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ ⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ ⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ ③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ ⑩ 全処理委託量	403.1 t
⑪ ⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	198.9 t
⑫ ⑫ 再生利用業者への処理委託量	403.1 t
⑬ ⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ ⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

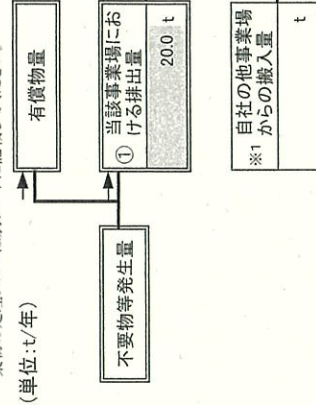
産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

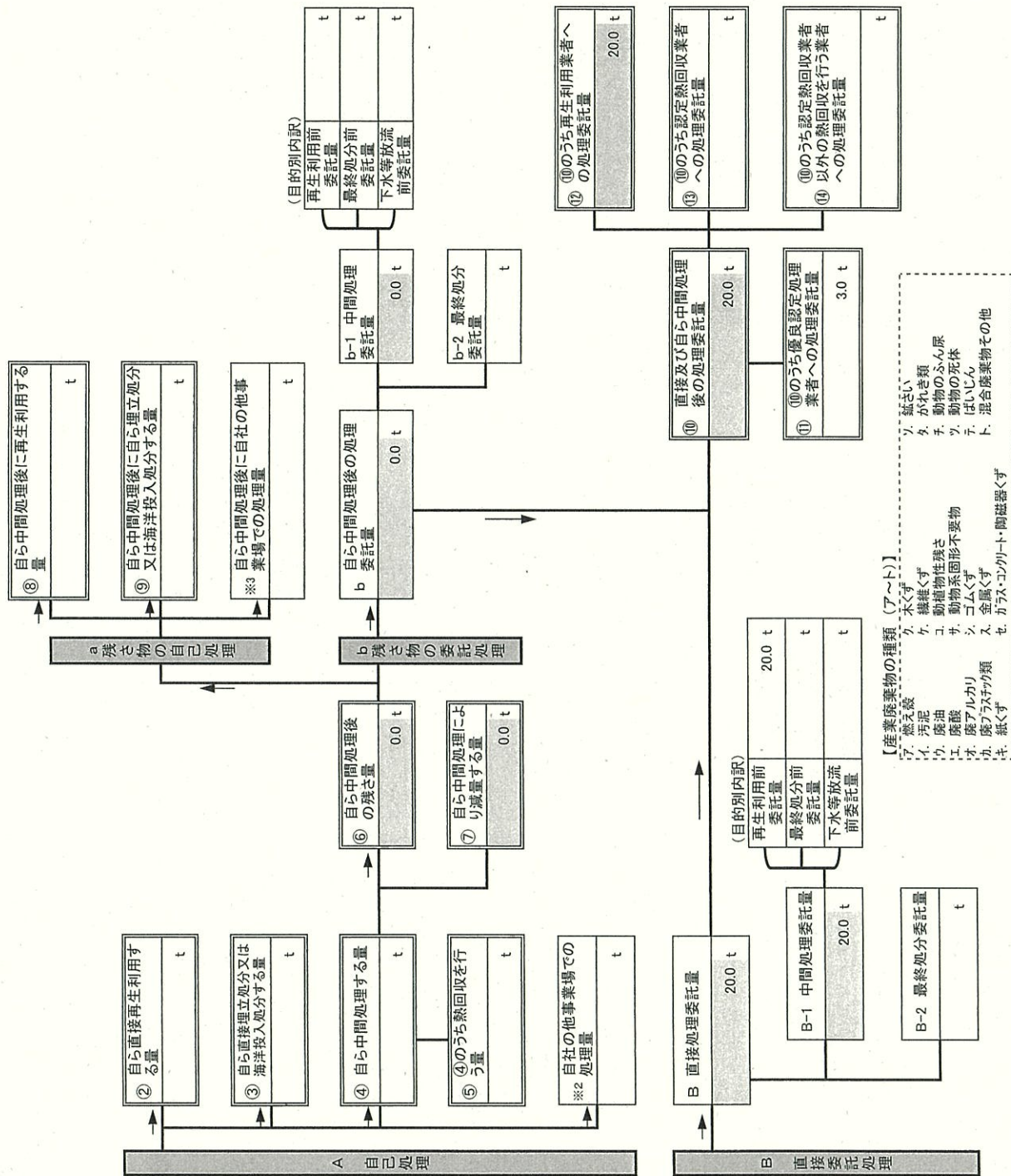
(単位: t/年)



注) 右上のフローには、令和6年度の目標量を記載してあります。下の表には、令和5年度実績を記載してあります。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとともに数値が反映されます。

項目	令和5年度実績
① 排出量	23.1 t
②+⑧ 自再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	23.1 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	3.8 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	23.1 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

事業場名称：株式会社荏原製作所 荏原事業所



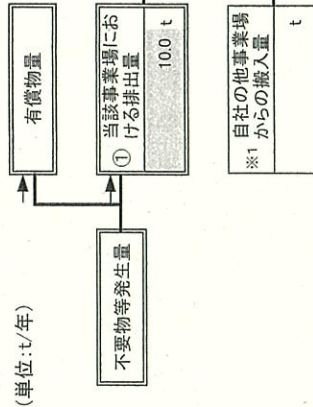
産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー

令和6年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

※ 本用紙は産業廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる産業廃棄物の種類は別シートに記載してください。

(単位: t/年)



注) 右上のフローには、令和6年度の目標量を記載してあります。下の表には、令和5年度実績を記載してあります。なお、様式3を合わせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項目	令和5年度実績
① 排出量	11.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	11.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	11.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

【産業廃棄物の種類 (アベト)】

- ア. 燃え殻
- イ. 汚泥
- ウ. 廃油
- エ. 廃酸
- オ. 廃アルカリ
- カ. 廃プラスチック類
- キ. 紙くず
- ク. 繊維くず
- ケ. 繊維くず
- コ. 動物のふん尿
- サ. 動物の死体
- シ. ゴムくず
- ス. 金属くず
- セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず
- ソ. 鉱さい
- タ. かんきく類
- チ. 動物の死体
- ツ. ばいじん
- ト. 混合廃棄物その他

2-2	法定	自主
-----	----	----

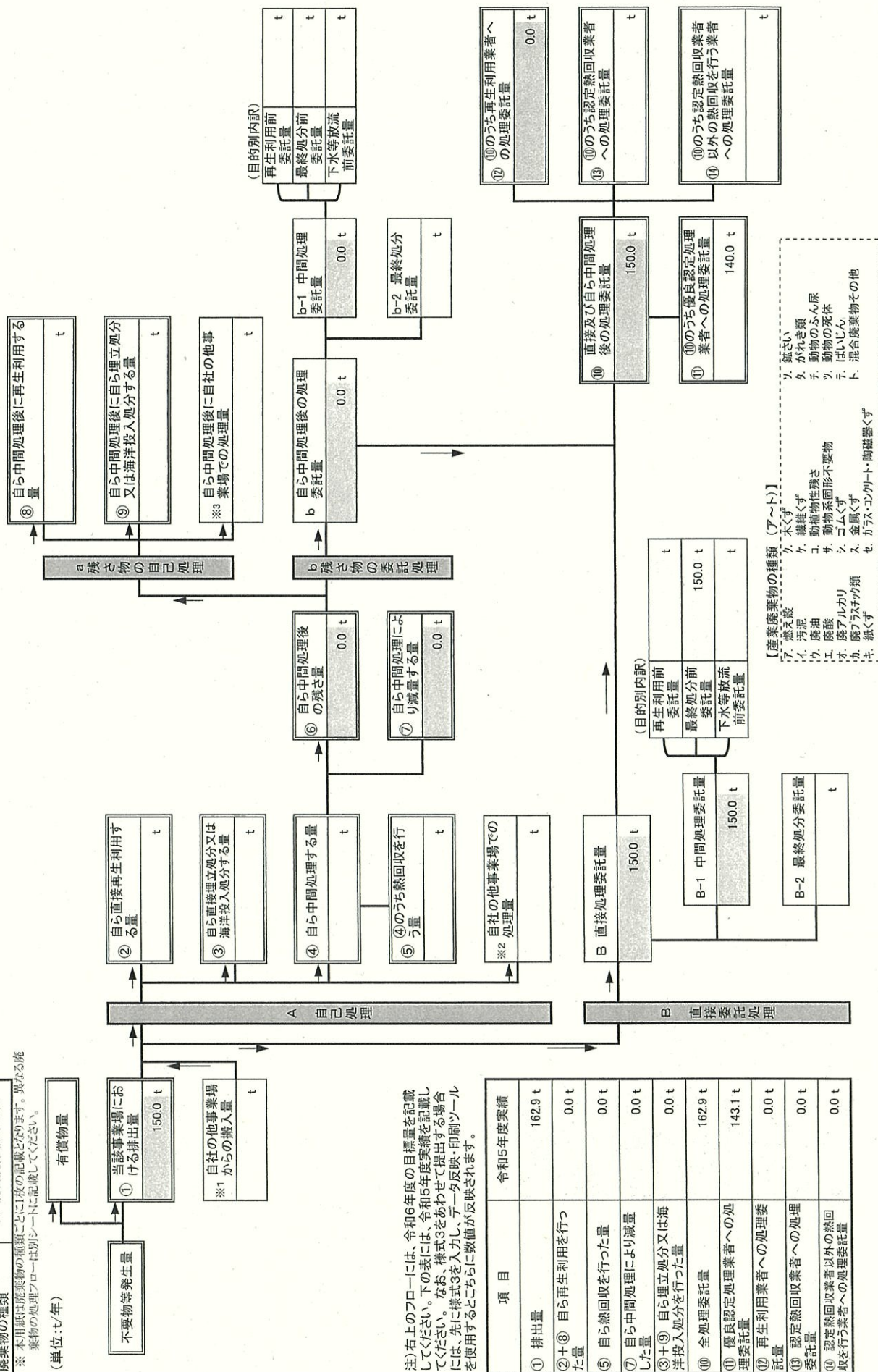
事業場名称 : 株式会社荏原製作所 藤沢事業所

2-2	法定	自主
-----	----	----

別紙処理フロー—

フロアーに記載した産業 廃棄物の種類	ト、混合廃棄物その他
-----------------------	------------

(单位:t/年)



注)右上のフローには、令和6年度の目標量を記載し
てください。下の表には、令和5年度実績を記載し
てください。なお、様式3をあわせて提出する場合
には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツール
を使用するとこちらに数値が反映されます。

項 目	令和5年度実績
① 排出量	162.9 t
②+③ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	162.9 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	143.1 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t